

建設キャリアアップシステムで選ばれる企業へ!

この秋！建設職人の証(あかし)登録で仲間を増やそう

国交省、建設業4団体意見交換でCCUSを業界共通基盤へと発言

国交省は8月29日、「新・担い手3法」を受け働き方改革について建設業4団体(日建連、全建、全中建、建専連)と意見交換を実施。石井国交相は、担い手確保、処遇改善の加速、賃金水準引き上げを全面にすすめるとし、CCUSは国交省と建設業界を挙げて業界共通の制度インフラとして育て、経営事項審査などの評価方法をCCUSにもとづいた見直しや公共工事における効果検証を行うとした。



今後、職種別に専門工事業団体が策定する技能者の能力評価基準に、技能レベル(レベル1~4)に応じた技能者の給与の目安を盛り込み、目安の活用で価格交渉や技能者が技能レベルに応じた給与を受け取れる仕組みづくりを検討します。9月13日の中央建設業審議会の総会で改正案が審議され、国会に提案される予定です。

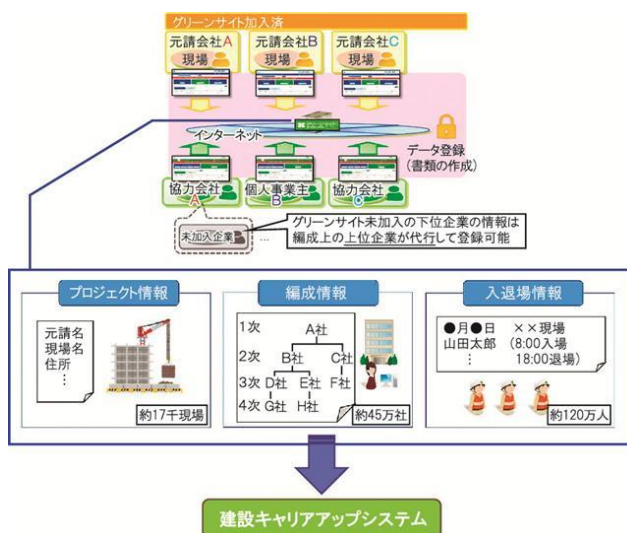
グリーンサイトとCCUSとの連携が決まる、利便性向上へ

建設現場の労務安全書類の作成を支援する「グリーンサイト」は、CCUSの就業履歴情

報との連携について8月30日に認定されました。グリーンサイトは元請会社200社以上が利用し、1万7000社以上の現場・契約情報、現場施工に参画する専門工事会社約45万社の施工体制情報、約120万人の技能者の就労履歴情報を持っています。

グリーンサイトは2020年9月までの1年間、無料でサービスが利用できるキャンペーンを展開しており、CCUSの普及の後押しとなります。CCUSとグリーンサイトの情報を生かし、現場ごとに手入力する事前準備作業の大幅削減、労働時間短縮につながりそうです。

今後、現場施工管理調整サービス、保有資格に応じた手当を集計する資格管理サービス、勤退管理・給与計算サービス、賃金支払報告書作成サービスが構築されていきます。



グリーンサイトを利用する事業者がこのサイトのサービスを生かすためには、CCUS登録が必須となります。

土建独自2000円の助成活用

6月に決定した、CCUSカードを所持すれば組合員へ2000円相当CCUS助成は、組合員拡大で喜ばれています。世田谷支部ではCCUS取得した未加入者が、組合加入でもらえることがわかり、喜ばれています。秋の月間の対話で活用しましょう。

登録件数伸びる！

支部＝認定窓口は正確、早い！

8月末で全国の登録数は、技能者100,916人(東京11,274人)、事業者20,312件(同3,448件)で、前月比22%増(技能者登録)です。東京土建全体の登録完了数は、技能者事業者計で170件(4月12件、5月35件、6月26件、7月45件)と増え、9月に入って登録受付が急増しています。

埼玉土建等の組合では模範を示そうと、役員から登録を進めています。建設ユニオンでは、6月末で738件(技能者と事業者合計)、うち約6割が住宅建設を手掛ける地域工務店やその現場を担う職人で**住宅建築事業者の登録は組合がしないと進まない**としています。

郵送やインターネット登録は、サポートなしで組合員が自分で申請書類を整えるのは大変な作業です。

杉並支部では、「ネットでやってみたが途中で挫折した」との相談がきています。経験や資格、社会保険についての裏付け書類の添付、各種コード番号の記入が多く、組合の認定窓口なら必要な証明も組合が出せるものが少なくなく、組合員の実態を理解している書記が対応することで、組合員には登録からカード発行まで早ければ2～3週間程度で完了、スピーディーだ、利便性が高いと評判です。

登録が義務化されたため、**外国人実習生**



雇用の事業所の登録も急速に進んでいます。

若者が辞めない産業へ、働き手確保のために CCUS 登録を

現場就労の実績を蓄積・証明するしくみは、将来を考える若者にとって魅力となっています。CCUSを活用し、講習や教育、助成金制度、処遇改善などの若者支援策も計画されています。CCUSを登録したある工務店社長は、「**若い人ほど就業記録が残せることに意義を感じ、CCUSのある現場に希望を感じている**」と話しています。

キャリアアップカードは現場入場で欠かせないものとなります。CCUSに登録していない事業所は、若者から見向きされなくなります。

住宅建築分野(町場)の職人こそ CCUS活用を

キャリアをアピールするのが難しい「町場」の事業者・職人こそ、CCUS活用の可能性が広がります。キャリアアップカードは**建設職人の証(あかし)**となり、ネット環境があればIDとパスワードでいつでも現場の実績、経験資格を明らかにし、組合員であることとあわせてお客さんの信頼を深める身分証明となります。持っていないと信用を失う時代が来ます。

工務店評価、選ばれる事業者へ

CCUS情報を活用し、元請となる工務店の評価制度が今年度末までに始まります。約20の評価項目によって点数化、星4つ(☆☆☆☆)で示す内容が検討されています。

レベル3以上の従業員や29歳以下の割合、取得資格・表彰、地域貢献(防災協会会員など)や認定長期優良住宅、リカコの加入などを点数化。全建総連が他の業種に先がけて運用をめざし、高い性能水準の住宅を直接施工し、若手育成する工務店ほど点数が稼げることになる制度がめざされています。

職種ごとに事業者評価制度がはじまり、技能者のCCUS現場就業実績が会社の評価に直結し、今後の仕事受注に大きく影響するようになっていきます。住民や取引先企業、公共工事など、**CCUSで選ばれる事業所**となるため、早く登録することが大事です。